

月次運用レポート

フィデリティ・グローバル社債・ファンド2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)／(限定追加型・為替ヘッジなし)

愛称：インカム・ジェネレーション

追加型投信／内外／債券



2026年4月

フィデリティ・グローバル社債・ファンド 2023-09(限定追加型・為替ヘッジあり)

設定日：2023年9月22日

信託期間：2023年9月22日から2027年12月20日まで

決算日：原則として毎年12月20日(休業日の場合は翌営業日)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■基準価額・純資産総額の推移

	2026/3/31	2026/2/27
基準価額	10,092 円	10,072 円
純資産総額	95.1 億円	96.5 億円
累積投資額	10,092 円	10,072 円

基準価額 (月中)	高値	10,128 円	(3月23日)
	安値	10,078 円	(3月2日)
基準価額 (設定来)	高値	10,181 円	(2025年1月10日)
	安値	9,788 円	(2023年12月14日)
累積投資額 (設定来)	高値	10,181 円	(2025年1月10日)
	安値	9,788 円	(2023年12月14日)

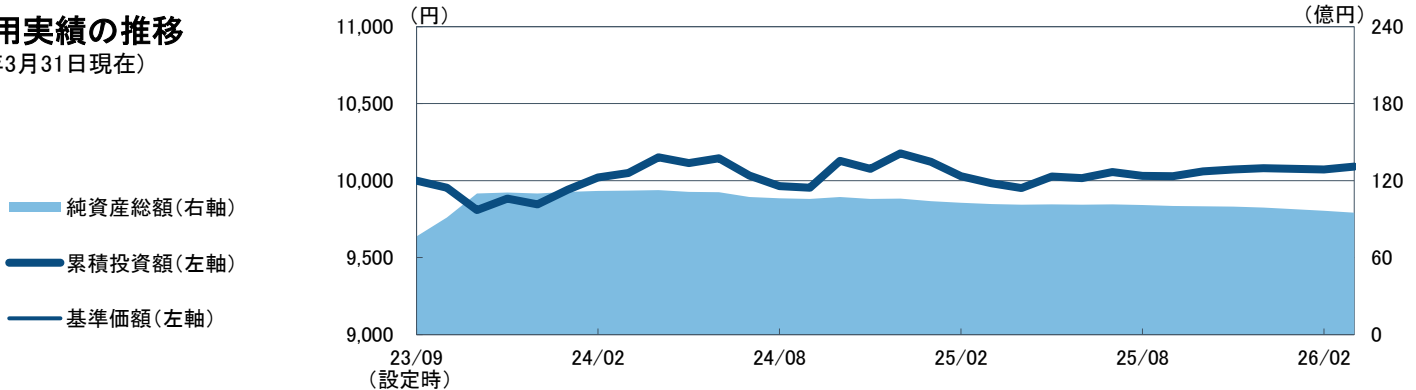
■累積リターン

(2026年3月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.20%	0.11%	0.64%	1.09%	－	0.92%

■運用実績の推移

(2026年3月31日現在)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2026年3月31日現在)

決算期	日付	分配金
第1期	2024年12月20日	0 円
第2期	2025年12月22日	0 円
設定来累計		0 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

月次運用レポート

フィデリティ・グローバル社債・ファンド2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)／(限定追加型・為替ヘッジなし)

愛称：インカム・ジェネレーション

追加型投信／内外／債券



2026年4月

フィデリティ・グローバル社債・ファンド 2023-09(限定追加型・為替ヘッジなし)

設定日：2023年9月22日

信託期間：2023年9月22日から2027年12月20日まで

決算日：原則として毎年12月20日(休業日の場合は翌営業日)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■基準価額・純資産総額の推移

	2026/3/31	2026/2/27
基準価額	12,525 円	12,238 円
純資産総額	21.2 億円	21.1 億円
累積投資額	12,525 円	12,238 円

基準価額 (月中)	高値	12,527 円	(3月19日)
	安値	12,295 円	(3月5日)
基準価額 (設定来)	高値	12,527 円	(2026年3月19日)
	安値	9,947 円	(2023年12月14日)
累積投資額 (設定来)	高値	12,527 円	(2026年3月19日)
	安値	9,947 円	(2023年12月14日)

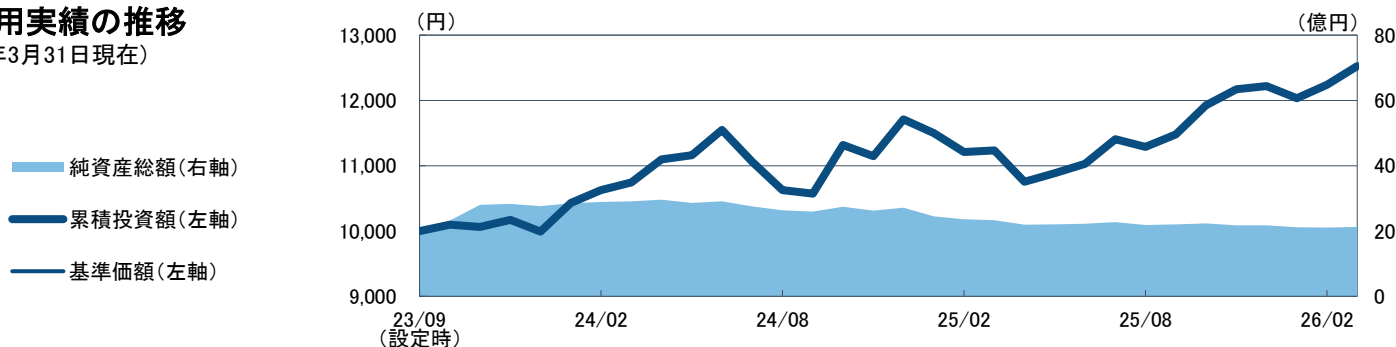
■累積リターン

(2026年3月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.35%	2.50%	9.09%	11.49%	—	25.25%

■運用実績の推移

(2026年3月31日現在)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

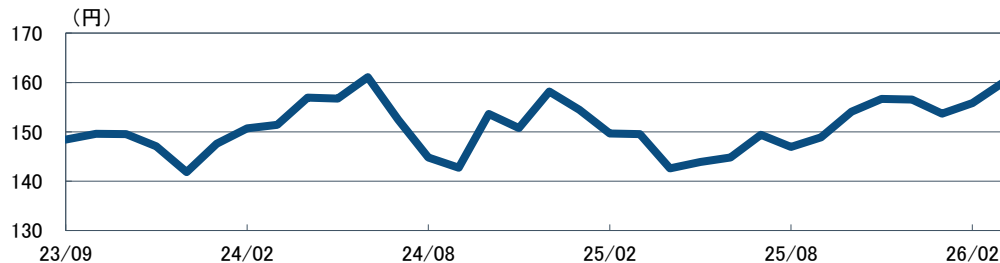
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■(ご参考)円/米ドル 為替レートの推移

(2026年3月31日現在)



■分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2026年3月31日現在)

決算期	日付	分配金
第1期	2024年12月20日	0 円
第2期	2025年12月22日	0 円
設定来累計		0 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

月次運用レポート

フィデリティ・グローバル社債・ファンド2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)／(限定追加型・為替ヘッジなし)

愛称：インカム・ジェネレーション

追加型投信／内外／債券



2026年4月

■ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

◆組入上位10銘柄 (組入銘柄数：76)

(2026年3月31日現在)

	銘柄	クーポン	償還日	国・地域	格付	比率
1	ジャガー・ランドローバー・オート モーティブ	4.5%	2027/10/1	イギリス	BBB/Baa	2.4%
2	野村ホールディングス	2.329%	2027/1/22	日本	BBB/Baa	1.9%
3	シンクロニー・バンク	5.625%	2027/8/23	アメリカ	BBB/Baa	1.8%
4	ベリー・グローバル	1.65%	2027/1/15	アメリカ	BBB/Baa	1.8%
5	ステランティス	1.711%	2027/1/29	アメリカ	BBB/Baa	1.8%
6	ビアトリス	2.3%	2027/6/22	アメリカ	BB/Ba	1.8%
7	ロイヤルティ・ファーマ	1.75%	2027/9/2	イギリス	BBB/Baa	1.8%
8	キーバンク・ナショナル・アソシ エーション	5.85%	2027/11/15	アメリカ	BBB/Baa	1.8%
9	HCA	3.125%	2027/3/15	アメリカ	BBB/Baa	1.8%
10	グローバル・ペイメンツ	2.15%	2027/1/15	アメリカ	BBB/Baa	1.8%

上位10銘柄合計

18.8%

(対純資産総額比率)

※銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。
※クーポンは、銘柄属性として発行時に定められたものを表示しております。
※償還日が2199/12/31と表示されているものは永久債です。
※国・地域は発行国・地域を表示しています。
※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(表示方法は「プラス／マイナス」の符号を省略し、S&P社／ムーディーズ社を表記しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

月次運用レポート

フィデリティ・グローバル社債・ファンド2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)／(限定追加型・為替ヘッジなし)

愛称：インカム・ジェネレーション

追加型投信／内外／債券



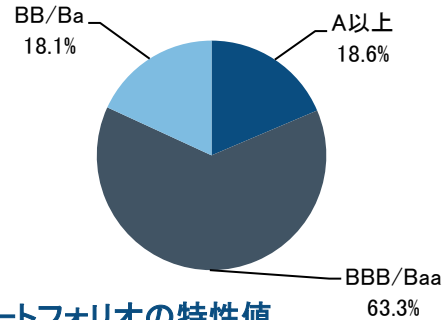
2026年4月

(2026年3月31日現在)

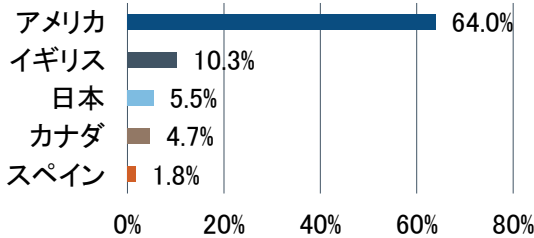
◆資産別組入状況

債券	97.1%
現金・その他	2.9%

◆格付別組入状況



◆組入上位5ヶ国・地域



◆ポートフォリオの特性値

	2026/3/31	2026/2/27
最終利回り	4.7%	4.2%
直接利回り	4.0%	4.0%
修正デュレーション	0.9	0.9
平均格付	BBB/Baa	BBB/Baa

(対純資産総額比率、但し、格付別組入状況については対投資債券比率)

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(表示方法は「プラス／マイナス」の符号を省略し、S&P社／ムーディーズ社を表記しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

※国・地域は発行国・地域を表示しています。

※ポートフォリオの特性値は、計算日時点の参考値であり、将来の利回りや運用成果を保証するものではありません。

※最終利回り、直接利回り、修正デュレーションは債券の部分で算出しております。

※平均格付は、基準日時点においてファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

■(ご参考)ポートフォリオ構築時の状況(マザーファンド・ベース、2023年10月12日時点)

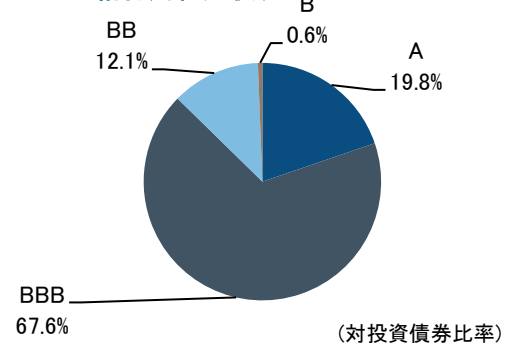
為替ヘッジコスト、信託報酬(税込み)控除後の実質的な最終利回り(年率)

	為替ヘッジあり*	為替ヘッジなし*
為替ヘッジ考慮前最終利回り	6.55%	6.55%
為替ヘッジコスト	4.45%	-
信託報酬(税込み)	0.7975%	0.7975%
実質的な最終利回り	1.30%	5.75%

ポートフォリオの特性値

最終利回り	6.55%
平均残存年数	3.49年
平均格付	BBB/Baa
銘柄数	90

格付別組入状況



(対投資債券比率)

* 当ファンドは期中の一部解約が可能であり、解約代金の支払いに対応するため債券を満期前に売却する場合は金利変動の影響を受けて、損失が発生する場合があります。

(注)フィデリティ・インターナショナルよりフィデリティ投信作成。2023年10月12日時点での各種データによる概算値。最終利回りは、各銘柄の最終利回り(2023年10月12日時点)について加重平均を行ったものです。最終利回りは実際に組み入れる銘柄や投資開始時点の利回りによって変動します。最終利回りは、債券等の部分で算出しております。為替ヘッジコストは、2023年10月12日現在の金利および為替の水準に基づく推計値です。購入時手数料やその他の費用は考慮していません。上記の数値は四捨五入しているため、合計が一致しない可能性があります。

※(為替ヘッジあり)の場合、為替ヘッジコストは投資開始時点の市場動向によって変動し、また中途換金への対応のために組入債券を時価で売却し、為替ヘッジを時価で一部解約することがあります。(為替ヘッジなし)の場合、投資成果は為替変動の影響を受けます。上記、為替ヘッジなしの場合における実質的な最終利回りは為替変動による影響を考慮していません。

※最終利回りは債券の部分で算出しております。

※平均格付は、基準日時点においてファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(表示方法は「プラス／マイナス」の符号を省略し、S&P社／ムーディーズ社を表記しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。



月次運用レポート

フィデリティ・グローバル社債・ファンド2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)／(限定追加型・為替ヘッジなし)

愛称：インカム・ジェネレーション

追加型投信／内外／債券



2026年4月

■コメント

(2026年3月31日現在)

◆市場概況

【米国マクロ・金利環境】

米国債券市場では、中東情勢や金融政策に注目が集まりました。月上旬は、米国による対イランの軍事行動により原油価格が急騰するなか、インフレ懸念が強まり、長期金利は上昇しました。2月の雇用統計は、非農業部門の就業者数が9.2万人減少するなど軟調な結果でしたが、影響は限定的となりました。月中旬は、米連邦公開市場委員会(FOMC)において政策金利据え置きが決定され、原油高の影響を見極めるため利下げを急がない姿勢が示されたことで、長期金利は上昇しました。月下旬は、トランプ大統領から対イランの軍事作戦の早期終結に向けた発言も見られたものの、目立った進展はなく、長期金利は高水準でもみ合い推移となりました。月を通してみると、米国10年国債利回りは大幅に上昇しました。

【欧州マクロ・金利環境】

欧州債券市場では、景気動向・中東情勢などに注目が集まりました。月上旬は、米国による対イランの軍事行動により、原油価格が急騰し、インフレ懸念が強まるなかで、ドイツや英国の長期金利は上昇しました。月中旬は、英国の成長率が市場予想を下回るも、長期金利の反応は限定的でした。その後欧州と英国の中央銀行がともに政策金利据え置きを決定しましたが、どちらもインフレ加速に対する警戒から今後の利下げに対して慎重な姿勢が目立ち、長期金利は上昇しました。月下旬は、米国とイランの和平交渉への期待が高まる場面もありましたが、目立った進展がみられなかったことから、長期金利は高止まりする展開となりました。月を通してみると、10年国債利回りはドイツと英国で上昇しました。

【グローバル投資適格社債市場概況】

投資適格社債のスプレッド(上乗せ利回り)は、月を通して拡大しました。米政権の政策や中東情勢などが注目される中、原油価格の急騰によりインフレ懸念が強まり、金利上昇と投資家心理の悪化が、投資家のリスク回避姿勢につながりました。

【米国ハイ・イールド社債市場概況】

米国ハイ・イールド社債相場は前月末比で下落しました。ホルムズ海峡の封鎖や中東情勢の混乱の長期化観測を背景に、原油価格が上昇し、インフレ加速懸念が高まるなか、長期金利は上昇しました。利下げ期待が後退するなかで投資家のリスク回避姿勢が強まり、スプレッド(米国国債に対する上乗せ利回り)は拡大しました。

◆今後の見通し

投資適格社債市場は、金融政策や地政学リスクの影響には注意が必要であるものの、高い信用力を背景に、クレジット資産の中においては相対的な安定性を維持するものとみています。当ファンドでは原則として信託期間内に満期を迎える債券に投資し、各債券の満期日まで保有する「持ち切り運用」を行います。銘柄選択においては、当社のクレジットリサーチに基づき、発行体企業の信用の質と継続的な安定性などの評価と、当該債券の市場利回りとのバランスを考慮することで、格下げ等のリスクを抑えつつ、魅力的な利回り確保を目指した運用を行います。

※コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンドおよび指数等の動向と異なる場合があります。

※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

フィデリティ・グローバル社債・ファンド 2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)

(限定追加型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

※購入のお申込み期間は終了しております。

ファンドの特色

- 1 フィデリティ・グローバル社債・マザーファンド 2023-09 (以下「マザーファンド」といいます。) 受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の米ドル建て投資適格債券、及び投資適格未満の債券(ハイ・イールド債券)に幅広く分散投資を行ないます。
- 2 原則としてファンドの信託期間内に満期を迎える債券に投資し、各債券の満期日まで保有する「持ち切り運用」を行ないます。組入債券が信託期間中に満期を迎えた場合には、ファンドの信託期間内に満期を迎える債券への再投資を行なう場合があります。※ただし、信用リスク等の観点から、償還日前に、保有する債券を売却する場合や信託期間内に償還を迎えない債券に投資する場合があります。
- 3 投資適格債券の格付けに関しては、Baa格(ムーディーズ社)またはBBB格(S&P社)以上とします。
- 4 投資適格未満の債券(ハイ・イールド債券)への投資比率は原則としてマザーファンドの純資産総額の40%を上限とします。
- 5 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
- 6 為替ヘッジありは、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。為替ヘッジなしは、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行ないません。
- 7 信託期間が約4年3か月の限定追加型の投資信託です。
 - 信託期間は、2023年9月22日から2027年12月20日までです。
 - ご購入のお申込みは、2023年10月6日までの間に限定して受け付けます。2023年10月7日以降のご購入のお申込みの受付は行ないません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合があります。

※ファンドは「フィデリティ・グローバル社債・マザーファンド 2023-09」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

[運用の委託先]

マザーファンドの運用にあたっては、FILインベストメンツ・インターナショナルに、運用の指図に関する権限を委託します。

委託先名称	委託する業務の内容
FILインベストメンツ・インターナショナル(所在地: 英国)	委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用の指図を行ないます。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
信用リスク	有価証券等への投資にあたっては、発行体において利払いや償還金の支払いが遅延したり、債務が履行されない場合があります。なお、ハイ・イールド債およびエマージング・マーケット債に投資を行なう場合には、上位に格付けされた債券に比べて前述のリスクが高くなります。
金利変動リスク	公社債等は、金利の変動を受けて価格が変動します。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、金利が低下した場合には債券価格は上昇します。
為替変動リスク	為替ヘッジありは為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当のヘッジコストがかかる場合があります。為替ヘッジなしは為替ヘッジを行わないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

フィデリティ・グローバル社債・ファンド 2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)

(限定追加型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

※購入のお申込み期間は終了しております。

カントリー・リスク

投資対象国及び地域の政治・経済・社会情勢等の変化、証券市場・為替市場における脆弱性や規制等の混乱により、有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。税制・規制等は投資対象国及び地域の状況により異なり、また、それらが急遽変更されたり、新たに導入されたりすることがあります。これらの要因により、運用上の制約を受ける場合やファンドの基準価額の変動に影響を与える場合があります。なお、新興国への投資は先進国に比べて、上記のリスクの影響が大きくなる可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

■**クーリング・オフ**: ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

■**流動性リスク**: ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要がある場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

■**保有債券の繰上償還等に関する留意点**: 投資した債券が満期償還や繰上償還される場合、また償還日前に売却される場合には、別の債券に投資することがあり、保有債券の利回りが当初の想定利回りより低くなる可能性や、金利低下局面等においては、再投資した債券の利回りが当初投資した債券の利回りより低くなる可能性があります。

■**償還前のご換金に関する留意点**: ファンドの償還前にご換金される場合には、債券を満期まで保有することにより額面での償還を受けることを意図した「持ち切り運用」ができず、額面を下回る価格にて組入債券の売却等をせざるを得ない場合があり、換金価額が投資元本を下回る要因となります。

■**分配金に関する留意点**: 分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

■**購入・換金申込受付の中止及び取消しについての留意点**: 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策の変更や資産凍結を含む規制の導入、クーデターや重大な政治体制の変更等））があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。

フィデリティ・グローバル社債・ファンド 2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)

(限定追加型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

※購入のお申込み期間は終了しております。

お申込みメモ

商品の内容やお申込みの詳細 についての照会先	委託会社	フィデリティ投信株式会社
	インターネットホームページ	https://www.fidelity.co.jp/
	電話番号	0570-051-104（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
	上記または販売会社までお問い合わせください。	
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。	
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに購入・換金の申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。	
換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日及びニューヨークにおける銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日及びロンドンにおける銀行の休業日においては、お申込みの受付は行ないません。	
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件5億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。	
信託期間	2023年9月22日（設定日）から2027年12月20日まで	
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。	
決算日	原則、毎年12月20日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。	
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。	
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、「ジュニアNISA」の適用対象です。 上記は2023年12月末までの制度となります。	

ファンドの費用・税金

換金時手数料	ありません。
信託財産留保額	基準価額に対し 0.30% です。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に対し、 年0.7975%（税抜0.725%） の率を乗じた額が運用管理費用（信託報酬）として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日（当該日が休業日の場合は翌営業日）及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
その他費用・手数料	組入有望証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。 法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（税込）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日（当該日が休業日の場合は翌営業日）及び毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドの費用・税金の詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

フィデリティ・グローバル社債・ファンド 2023-09

(限定追加型・為替ヘッジあり)

(限定追加型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

※購入のお申込み期間は終了しております。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人資産運用業協会
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
運用の委託先	FILインベストメンツ・インターナショナル(所在地:英国)
販売会社	販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス: https://www.fidelity.co.jp)をご参照ください。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・グローバル社債・ファンド 2023-09(限定追加型・為替ヘッジあり)／(限定追加型・為替ヘッジなし)」が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の米ドル建て債券等を投資対象としていますが、株式を含むその他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた債券、株式およびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた債券、株式およびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。さらに、ハイ・イールド債券については上位に格付けされた債券に比べて、利払い・元本返済の不履行または遅延等のいわゆるデフォルト・リスクが高い傾向にあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- 当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

FACTPD 260304-6

■フィデリティ・グローバル社債・ファンド 2023-09(限定追加型・為替ヘッジあり)／(限定追加型・為替ヘッジなし) 販売会社情報一覧(順不同)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○		○	

* 上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
販売会社によってお申込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。